

環境活動レポート

(運用期間 2015年7月1日から2016年6月30日まで)



®環境省

エコアクション21

認証・登録番号 0009707



株式会社 得能組

富山県砺波市太郎丸3-113

作成日 2016年 8月 8日

【目次】

1. 組織の概要
2. 対象範囲および実施体制と役割・責任・権限
3. 環境方針
4. 活動計画・環境目標と実績
5. 環境活動実績への評価と見直し
6. 環境関連法規遵守状況の確認および結果への評価
違反、訴訟の有無
7. 経営者による全体の評価と見直し

認証・登録の組織及び活動

1. 組織の概要

事業所名及び代表者名

株式会社 得能組 代表取締役 得能 英紀

所在地

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸三丁目 1 1 3 番地

資材整備工場

〒939-1416 富山県砺波市芹谷 1 4 3 8 - 1

金沢作業所

〒920-0331 石川県金沢市大野町 4 - リー 1 7 7

環境管理責任者及び担当者氏名連絡先（メールアドレス・電話番号）

環境管理責任者 中瀧 裕二 (nakataki@tokunougumi.com・090-8963-1795)

環境管理担当者 土田 豊成 (office@tokunougumi.com・0763-32-4300)

事業の概要（事業許可の種類及び実施活動）

総合建設業（許可業種：土木工事業、大工工事業、とび・土工工事業、石工事業、
管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、
鉄筋工事業、ほ装工事業、造園工事業、水道施設工事業）

フィットネス事業

事業規模（工事の件数、売上高、従業員数、事業所の延べ床面積等、事業の規模が判る情報）

工事件数 90件

売上高 508,625千円

従業員数 36名

事業所延べ床面積

本社 353㎡

資材整備工場 898㎡

金沢作業所 119㎡

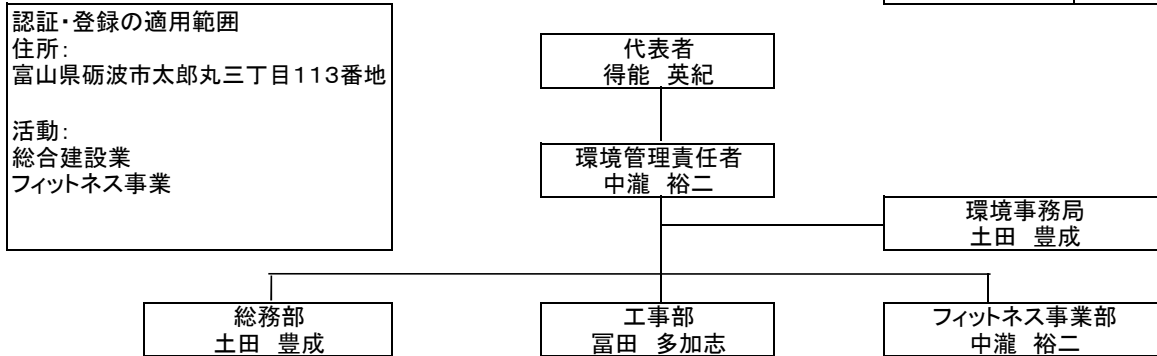
2. 対象範囲

全社組織並びに全活動を対象とする。

実施体制

作成・更新日	作成者	承認者
2013年7月1日	土田	中瀧

環境経営 実施体制図



環境経営 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施体制の構築。 必要な人・設備・費用・時間・技能者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、維持。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を分析・評価し代表者へ報告 環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21活動の事務局。 環境への負荷及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標・環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守状況のチェック実施。 環境関連の内部・外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポート作成、公開(事務所に備付け・地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の管理・報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境活動計画に従い、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環 境 方 針

株式会社得能組は、自然と散居景観が美しい富山県砺波市にあり、建設業を営む企業としての活動が地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境改善に積極的に取り組む、持続可能な循環型社会を目指し、以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例、その他の要求事項を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - ③節水の推進に取り組めます。
 - ④工事現場で、できる限りエコな工法、リサイクル品の使用、自然エネルギーを利用するなど環境負荷削減に努めます。
 - ⑤グリーン購入を実施します。
 - ⑥エコアクション21のシステムを構築・運営・維持・改善します。
3. この環境方針は、全従業員に周知します。

制定日：2012年11月12日

株式会社 得 能 組

代表取締役

得能 英記 

4. 環境活動計画

項 目		取 組 内 容	
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	電気使用量 の削減 (フィットネス 事業を含む)	照明不用時の消灯励行	
		冷暖房設定温度の標準化	
		事務機器の空運転防止	
		クールビズ・ウォームビズの実践	
	灯油使用量 の削減	コンクリート養生の効率化	
		暖房設定温度の標準化	
		ウォームビズの実践	
	液化石油ガス(LPG) 使用量の削減	作業の効率化	
		不用積載禁止	
		空運転防止	
エコドライブの励行			
こまめな点検・整備			
重機・車輛燃料 使用量の削減	省エネ車輛への転換		
	文書等のペーパーレス化		
	印刷プレビューによるロスの防止		
	不要紙裏面再利用		
	両面・縮小印刷による枚数削減		
産業廃棄物 の再資源化	適切な処理の励行		
	排出量を可能な範囲で抑制		
	再生材の利用		
削排 水 減量	上水道使用料 の削減 (フィットネス 事業を含む)	こまめな蛇口閉栓	
		節水意識の向上	
エコ工法		エコ工法の選択	
リサイクル品使用		マンホール、 コンクリート2次製品、 再生砕石、 再生アスファルト等を使用	
自然エネルギー利用		エコ機材の利用促進	
グリーン購入 の推進 (事務所および フィットネス事業)		カタログでチェック	

項目	単位	2009-2013年 度実績平均	2015年度 7月~6月 目標と実績		評 価	2016年度 目標	2018年度 中期目標
		基準値	目標率 目標値	実績/目標 実績値		目標率 目標値	目標率 目標値
二酸化炭素排出量削減	%	100	86	91	△	83	81
	kg-CO ₂	190,739.8	163,553.3	173,526.9		159,261.1	155,386.3
電力使用量削減	%	100	98	70	○	95	92
	kg-CO ₂	6,001.1	5,881.0	4,174.4		5,701.0	5,521.0
	kwh	9,275.2	9,089.7	6,452.0		8,811.4	8,533.2
化石燃料削減	%	100	88	92	△	83	81
	kg-CO ₂	184,738.8	157,672.3	169,352.5		153,560.1	149,865.4
ガソリン	%	100	98	106	×	95	93
	kg-CO ₂	31,595.9	30,964.0	33,518.7		30,016.1	29,384.2
	L	13,609.2	13,337.0	14,437.4		12,928.7	12,656.6
軽油	%	100	82	91	△	80	78
	kg-CO ₂	144,160.2	118,211.4	130,472.2		115,328.2	112,445.0
	L	54,932.0	45,044.2	50,449.0		43,945.6	42,847.0
LPG	%	100	45	29	○	40	38
	kg-CO ₂	577.6	259.9	168.1		231.0	219.5
	kg	192.4	86.6	56.0		77.0	73.1
灯油	%	100	98	62	○	95	93
	kg-CO ₂	8,405.0	8,236.9	5,193.4		7,984.8	7,816.7
	L	3,372.9	3,305.4	2,084.1		3,204.3	3,136.8
産業廃棄物分別率向上	%	99.5	100.0	100.0	○	100.0	100.0
環境負荷削減の取組	件	0	2	2	○	3	5
エコ工法	件	0	0	0	△	0	0
リサイクル品利用	件	0	1	1	○	2	3
自然エネルギー利用	件	0	1	1	○	1	2

電力のCO₂排出係数は、国が公表のH26年度北陸電力の実排出係数を用いた。

0.647 kg-CO₂/kwh

《<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8836>》を参照。

項目	単位	2009-2013年度実績平均		2015年度7月~6月 目標と実績		評価	2016年度 目標		2018年度 中期目標	
		基準値	実績/目標	目標率 目標値	実績/目標 実績値		目標率 目標値	目標率 目標値		
二酸化炭素排出量削減	%	100	82	81	○	77	75	61,829.7	60,226.0	
	kg-CO ₂	80,185.5	65,838.9	64,630.9						
電力使用量削減	%	100	85	83	○	80	78	54,873.5	53,501.6	
	kg-CO ₂	68,591.8	58,303.1	56,678.5		84,812.2	82,691.9			
	kwh	106,015.2	90,112.9	87,602.0						
化石燃料削減	%	100	65	69	△	60	58	6,956.2	6,724.3	
	kg-CO ₂	11,593.7	7,535.9	7,952.4						
ガソリン	%	100	65	68	△	60	58	6,956.2	6,724.3	
	kg-CO ₂	11,593.7	7,535.9	7,915.0		2,996.2	2,896.3			
	L	4,993.7	3,245.9	3,409.2						
軽油	%	100	100	0	○	100	100	0.0	0.0	
	kg-CO ₂	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
	L	0.0	0.0	0.0						
灯油	%	100	100	0	×	100	100	0.0	0.0	
	kg-CO ₂	0.0	0.0	37.4		0.0	0.0			
	L	0.0	0.0	15.0		0.0	0.0			
一般廃棄物排出量削減	%	100	89	82	○	84	81	420.0	406.0	
	kg	500.0	445.0	412.4						
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%	100	90	78	○	85	82	340.0	328.0	
	kg	400.0	360.0	311.0						
紙類排出量削減	%	100	85	101	×	80	78	80.0	78.0	
	kg	100.0	85.0	101.4						
排水量の削減	%	100	95	93	○	90	88	694.8	679.4	
	m ³	772.0	733.4	718.0						
上水道使用量の削減	%	100	95	93	○	90	88	694.8	679.4	
	m ³	772.0	733.4	718.0						
グリーン購入の推進	件	0	70	77	○	72	75			
事務用品購入	件	0	70	77	○	72	75			
地域環境活動実施	件	1	1	1	○	1	1			

電力のCO₂排出係数は、国が公表のH26年度北陸電力の実排出係数を用いた。
 <<<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8836>>>を参照。

0.647 kg-CO₂/kwh

5. 環境活動実績の評価と見直し

項目	取組内容	実施内容の評価	次回の活動計画	
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	照明不用時の消灯励行	基準の81.6%、目標の83.2%を達成できた。昨年残暑がなかったことと暖冬の影響で冷暖房の電気使用量が減少したものと考えられる。	気候変動の影響が大きいですが、そのことだけではなく教育を通じて社内の節電意識の定着を継続していく。
		冷暖房設定温度の標準化		
		事務機器の空運転防止		
		クールビズ・ウォームビズの実践		
	灯油使用量の削減	コンクリート養生の効率化 暖房設定温度の標準化 ウォームビズの実践	金沢宿舎人数の減少によるボイラー灯油使用料、暖冬による現場作業所の暖房灯油使用量が大きく減少した。	現場での使用状況を詳細に調査し、削減対策を絞り込む。
液化石油ガス(LPG)使用量の削減	作業の効率化	暖冬の影響か使用量が大幅に減少した	現状維持	
重機・車輛燃料使用量の削減	重機・車輛燃料使用量の削減	不用積載禁止	ガソリンの使用料は横ばい、工事量の増加により重機等の軽油使用料量は増加した。	車両用ガソリンおよび軽油は、燃費測定にあたり距離数の報告を定着させることで省エネ意識向上を推進していく。
		空運転防止		
		エコドライブの励行		
		こまめな点検・整備		
		省エネ車輛への転換		
廃棄物排出量削減	紙類排出量の削減	文書等のペーパーレス化	排出量がほぼ横ばいか、若干増加傾向にある。	ムダがないか他の取組を発想し削減達成を目指す。
		印刷プレビューによるロスの防止		
		不要紙裏面再利用		
		両面・縮小印刷による枚数削減		
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物の再資源化	適切な処理の励行	再資源化100%を達成することができた。	100%維持を目指す。
		排出量を可能な範囲で抑制		
		再生材の利用		
削排水減量	上水道使用料の削減	こまめな蛇口閉栓	使用量減少が宿舎の利用者数に起因していることがわかった。	教育を通じて節水意識の定着を継続していく。
		節水意識の向上		
エコ工法	エコ工法の選択	今期エコ工法の採用がなかった。	工夫して件数を増やす努力をする。	
リサイクル品利用	マンホール、再生砕石、再生アスファルト等の利用	施主からの特別な要望がない工事では100%利用した。	100%維持を目指す。	
自然エネルギー利用	エコ機材利用促進	夜間赤色灯、片交信号などで太陽光エネルギーを利用した。	利用例、件数を増やす努力をする。	
グリーン購入の推進	カタログでチェック	事務用品で目標の110%達成できた。	グリーン購入が定着してきているので、全購入数の占有率を高めていきたい。	

問題点の是正処置および予防処置

【現場】

項	目	原因	是正処置および予防処置
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	金沢宿舎での宿泊人数の減少により目標値を大幅に下回った。	引き続き現場作業員までの節電意識の向上を図っていく。
	灯油使用量の削減	宿舎での風呂・給湯などボイラーの使用量が人数減により、大幅に減少した。	宿舎使用者数は不確定なので、しばらく使用量の推移を確認する。
	液化石油ガス(LPG)使用量の削減	暖冬の影響と使用頻度の減少と共に大幅に減少している。	元々使用料は多くない。
	重機・車輛燃料使用量の削減	主たる原因は工事量の増加と遠隔地の工事量の増加である。	なるべく遠隔地への移動を乗り合わせ等工夫する。
排出廃棄物削減	産業廃棄物の再資源化		100%再利用の現状を維持する。
排水削減	上水道使用料の削減	宿舎泊人数の減少に伴う使用量減が考えられる。	引き続き節水意識の向上に努める。
	リサイクル品利用		現状維持
	自然エネルギー利用		現状維持

【事務所】

項	目	原因	是正処置および予防処置
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	暖冬のためエアコン使用量が減少したと思われる。	気候変動にも左右されるが、こまめな活動を積み重ねていく。
	車両燃料使用量の削減	目標値に5%オーバーしたが、ほぼ横ばいとみていい範囲である。	効率的な営業活動を推進していく。
廃棄物排出削減	紙類排出量の削減	昨年に比べ段ボールとカタログ雑誌等の排出が増えている。	段ボール、雑誌は紙類の再資源ゴミとなっているので、適切な排出を心がけていく。
排水削減	上水道使用料の削減	本社事務所での使用量は昨年度と比べほぼ横ばいとなっている。	現状維持しながら、より節水となる工夫を考えていく。
グリーン購入の推進		順調に推移している。	全購入数に占めるグリーン購入率の向上を目指していく。

6. 環境関連法規遵守状況の確認および結果への評価
違反、訴訟の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
過去3年間にわたり、関係機関等からの指摘、指導はありません。
この期間、顧客および住民よりの環境に関連するクレームはありませんでした。

7. 経営者による全体の評価と見直し

実施日	2016年 8月 5日									
活動期間	2015年 7月 1日 ~ 2016年 6月30日									
使用した資料	1. 審査時に必要な文書 2. 審査時に必要な記録									
評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムが有効に機能しているか ・環境への取組が適切に実施されているか 									
評価の結果および 見直し事項	<ul style="list-style-type: none"> ・紙使用についてペーパーレス化を実践している。 ・ガソリン使用量低減のためにエコドライブを実践している。 									
変更の必要性の判断	<table> <tr> <td>環境方針</td> <td><input type="checkbox"/>必要</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>不必要</td> </tr> <tr> <td>環境目標</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>必要</td> <td><input type="checkbox"/>不必要</td> </tr> <tr> <td>その他の計画</td> <td><input type="checkbox"/>必要</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>不必要</td> </tr> </table>	環境方針	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要	環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 不必要	その他の計画	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要
環境方針	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要								
環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 不必要								
その他の計画	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要								
環境管理者への指示事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化をさらに進めること。 (報告書はメールや電子化文書を使用する。) ・ガソリン使用もさらなるエコに努める。 									
経営者の抱負	<p>・工事量が増えることは、経営にとっては良いことなのですが、ガソリン・軽油の使用量増加につながりCO2の増加となってしまう。 ひとつひとつエコ意識をもって進めて下さい。</p>									

2016年 8月 5日

署名

尾形 英記